

令和7年度 第1回郡山市総合教育会議 次第

日時：令和7年8月28日（木）13時30分～14時30分
場所：郡山市役所 庁議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 議 題

- (1)学びのDXについて
- (2)小1 プロブレムへの対応について

4 報 告

- (1)学校給食の状況について
- (2)全国学力・学習状況調査結果について

5 閉 会

令和7年度 第1回郡山市総合教育会議 出席者名簿

役職名	氏名
市長	椎根 健雄
教育長	早崎 保夫
教育長職務代理者	藤田 浩志
教育委員	阿部 亜巳
教育委員	田中 里香
教育委員	見越 大樹
教育委員	佐々木 貞子

(敬称略)



【備考】開催方式：対面会議 会議公開：YouTube配信

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第一条の四第六号に基づき公開

●「教育DXの推進」に係る取り組み及び今後の展開について

国のGIGAスクール構想に伴い、1人1台端末を効果的に活用できるよう、ICT環境の整備に努めてまいりました。今後も1人1台端末の更なる活用や教職員の業務負担軽減に向けた環境の整備に努めてまいります。

デジタル教材の活用

【取り組み】

デジタル教材（スタディサプリ、デジタル新聞、ロイロノート 等）

- ・全ての児童生徒の「個別最適な学び」をサポートし、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成に取り組んでおります。
- ・1人1台端末環境を生かした各種デジタル教材を導入することにより、「個別最適な学び」を保障し、児童生徒の学力向上に取り組んでおります。



【今後の展開】

- ・学校のニーズに応じた教材の導入（または更新）等により、児童生徒一人一人の学びを保障し、更なる学力向上を図ります。

業務負担軽減に向けた環境の整備

【取り組み】

- ・令和3年度より統合型校務支援システムの運用を開始しました。
- ・令和6年度より授業づくり支援サービス(classstock)を導入し、教育の質の向上に取り組んでおります。
- ・令和6年度より中学校10校にデジタル採点ソフトを導入し、高速複合機を整備しました。



【今後の展開】

- ・令和7年度にデジタル採点ソフト及び高速複合機を中学校5校に追加整備し、更なる業務負担の軽減を図ります。

校内ネットワーク環境の整備

【取り組み】

- ・1Gbpsの高速校内LANを整備しました。
- ・令和3年度に市立学校の普通教室及び特別教室へのWi-Fi環境を整備しました。
- ・令和6年度に小学校のWi-Fi未整備箇所へ追加整備しました。



【今後の展開】

- ・令和7年度に中学校のWi-Fi未整備箇所への追加整備と学習系ネットワークの通信速度の改善を行い、更なるネットワーク環境の充実を図ります。

GIGAスクール運営支援センターの開設

【取り組み】

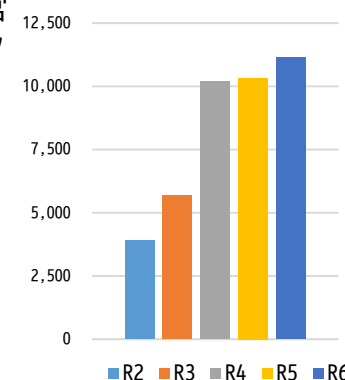
- ・令和4年4月に「郡山市GIGAスクール運営支援センター」を開設し、1人1台タブレット端末環境の安定的な運用を支えています。



【今後の展開】

- ・児童生徒の学習環境の充実を図るとともに、教職員のICT活用を支援するための体制整備に努めます。

年間対応件数



●教員のICT活用指導力の向上について

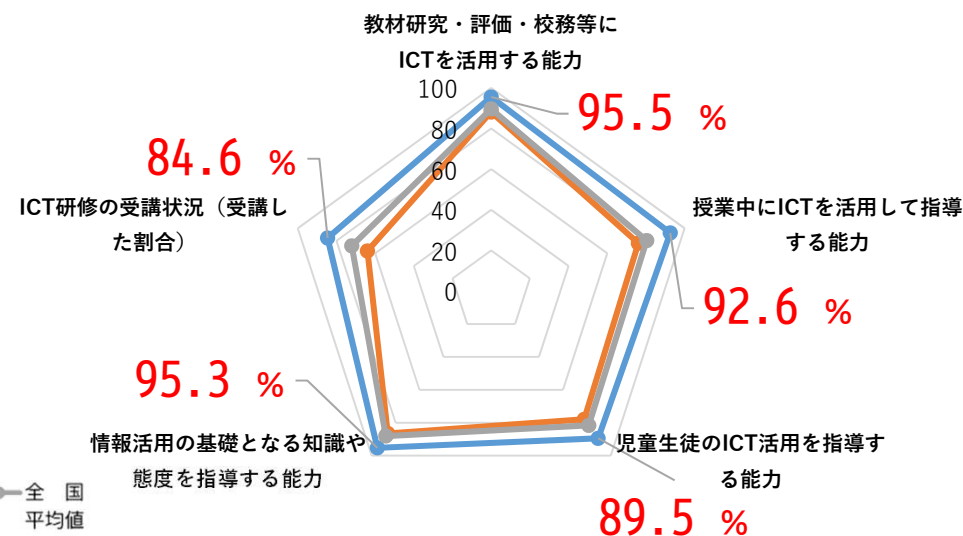
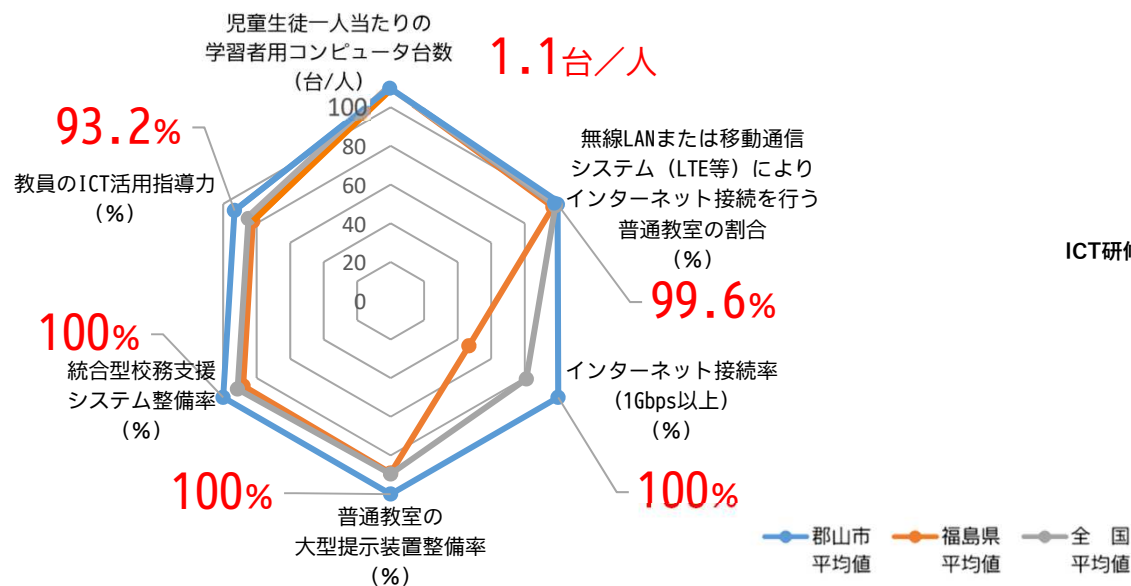
「令和の日本型学校教育」の構築を目指した授業改善と研修の充実、環境整備の充実により、市立学校における教員のICT活用指導力は、着実に向上しており、各項目ともに県・全国平均を上回る数値になっております。

令和5年度

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」
(文部科学省、令和6年3月)

学校における
主なICT環境の整備状況

教員のICT活用指導力



指標 (全学校種)	郡山市	福島県	全 国
児童生徒一人当たりの学習者用コンピュータ台数	1.1台/人	1.1台/人	1.1台/人
無線LANまたは移動通信システム (LTE等) によりインターネット接続を行う普通教室の割合	99.6%	96.9%	98.3%
インターネット接続率 (1Gbps以上)	100%	46.7%	81.0%
普通教室の大型提示装置整備率	100%	89.1%	89.6%
統合型校務支援システム整備率	100%	88.1%	91.4%
教員のICT活用指導力	93.2%	82.2%	84.9%

指標 (全学校種)	郡山市	福島県	全 国
教材研究・評価・校務等にICTを活用する能力	95.5%	88.1%	89.6%
授業中にICTを活用して指導する能力	92.6%	76.1%	80.4%
児童生徒のICT活用を指導する能力	89.5%	77.9%	81.6%
情報活用の基礎となる知識や態度を指導する能力	95.3%	86.5%	88.1%
ICT研修の受講状況 (受講した割合)	84.6%	64.0%	72.1%

議題2 「小1プロブレム」への対応について



2025/8/28 第1回総合教育会議
学校教育部 総合教育支援センター

小1プロブレム：子どもが、小学校に入学後に、学校生活に適応できない状態が続くこと

●幼保小連携推進事業：就学前後の円滑な接続を図るための事業

平成21年 郡山市幼保小連携推進事業開始
(授業と保育の相互参観協議会や合同研修会)
平成26年 郡山市版スタートカリキュラム作成(令和4年改定)

令和4年 幼保小の架け橋プログラム作成の手引きが文部科学省より示された
令和5年 【郡山市版】幼保小の架け橋プログラム作成検討開始
令和6年 【郡山市版】幼保小の架け橋プログラム策定検討委員会を組織し、
策定開始(3年間)

「幼保小の架け橋プログラム」導入イメージ

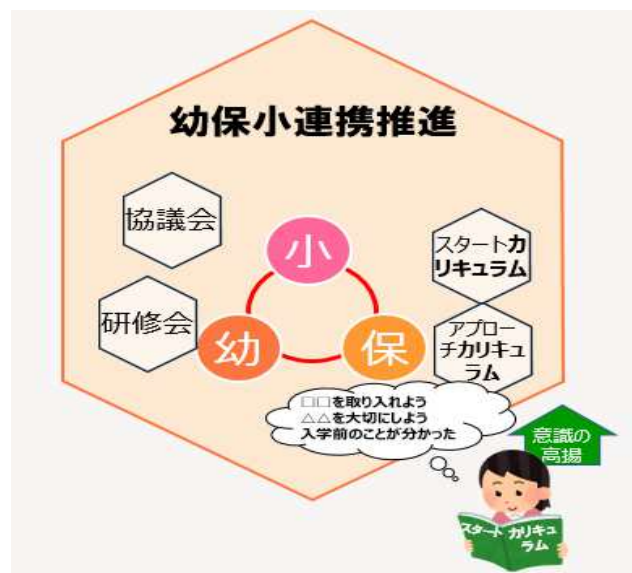
授業と保育の相互参観協議会や合同研修会

(平成21年開始)

- (1) 授業と保育の相互参観協議会 年14回実施
- (2) 幼保小合同研修会 年5回実施

※ 令和6年度 延べ957名の教職員が参加

これまで



【郡山市版】「幼保小の架け橋プログラム」策定委員会

(令和6年7月30日設置)

- (1) 【郡山市版】「幼保小の架け橋プログラム共通の視点」の作成
- (2) 幼保小のつながりを可視化できる「架け橋期のカリキュラム」デザインシートとリーフレットの作成
- (3) 令和8年度以降、各幼保小において、それぞれの実態に即した架け橋期のカリキュラムを協働で作成できるようにするための仕組みづくり
- (4) 令和8年度「架け橋プログラム協議会」の実施方法・実施内容の検討

「幼保小の架け橋プログラム」を導入すると



【郡山市版】「幼保小の架け橋プログラム」策定委員

所属団体	人数
郡山市小学校長会・郡山市立小学校教諭	4
郡山市私立幼稚園・認定こども園連合会	2
郡山市認可保育所長会	2
NPO法人郡山市私立保育園連絡協議会	2
こども部保育課・郡山市立保育所	3
有識者	1
総合教育支援センター	3
合計	17

議題2 「小1 プロブレム」への対応について



2025/8/28 第1回総合教育会議
学校教育部 総合教育支援センター

●幼保小連携推進事業「幼保小の架け橋プログラム」 第4期郡山市教育振興基本計画 新規・重点事業

令和6(2024)年度 郡山市の学校教育推進構想

《目指す郡山の子ども像》

高い志を持って自立し、他と協働して未来を拓く子ども

基本方針 SDGsを郡山の子どもたちから

「誰一人取り残されない」教育の推進

～一人一人の多様なウェルビーイングの向上のために～



連携教育の推進に努めます

2 幼保小の連携教育の推進

- (1) 幼保小の合同研修会や相互参観・協議会の実施
- (2) 「スタートカリキュラム・アプローチカリキュラム」の活用と実践
- (3) 【郡山市版】「幼保小の架け橋プログラム」の策定
 - ・小1プロブレムの解消に向けた教育活動の充実

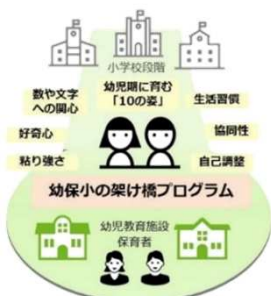
(H21) 郡山市幼保小連携推進事業開始

(H26) 「郡山市版スタートカリキュラム」作成

(R4) 「【改訂】郡山市版スタートカリキュラム」作成

幼保小の架け橋プログラム（文部科学省）

「幼保小の架け橋プログラム」は、子供に関わる大人が立場を越えて連携し、架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間）にふさわしいカリキュラムの開発等をおとして、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子供に学びや生活の基盤を育むことを目指すもの。



【郡山市版】「幼保小の架け橋プログラム」

【目指す方向性】

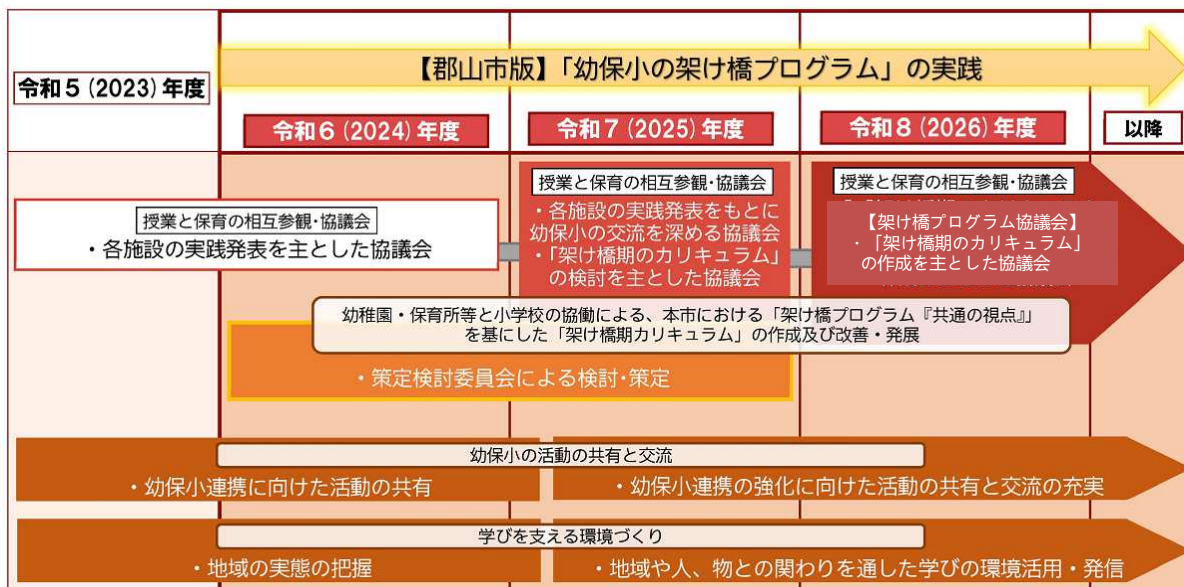
幼保小が協働し、共通の視点を持って教育課程や指導計画等を具体化できるよう、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や小学校学習指導要領で育成を目指す資質・能力、及び郡山市の実態を視野に入れながら、【郡山市版】「**幼保小の架け橋プログラム共通の視点**」を策定する。その共通の視点を基に、各幼保小においてそれぞれの実態に即した「**架け橋期のカリキュラム**」を協働で作成し、幼保小の先生と一緒に振り返って評価しながら、改善・発展させていく。

【郡山市版】「幼保小の架け橋プログラム」の内容

- (1) 幼稚園・保育所等と小学校の協働による「幼保小の架け橋プログラム共通の視点」を基にした「架け橋期のカリキュラム」の作成及び改善・発展
- (2) 幼保小の活動の共有と交流
 - ① 幼保小連携に向けた活動の共有
 - ② 幼保小連携の強化に向けた活動の共有と交流の充実
- (3) 学びを支える環境づくり
 - ① 地域の実態の把握
 - ② 地域や人、物との関わりを通した学びの環境活用・発信

一緒に話し合い、
一緒につくり、
一緒に練り直し
ていく（協働）

共通の視点



報告 1 学校給食の状況について



学校給食法（昭和29年6月3日 法律第160号）

- （学校給食の目標）
- 第二条 学校給食を実施するに当たっては、義務教育諸学校における教育の目的を実現するために、次に掲げる目標が達成されるよう努めなければならない。
- 一 適切な栄養の摂取による健康の保持増進
 - 二 日常生活における食事について正しい理解、健全な食生活を営むことができる判断力、及び望ましい食習慣
 - 三 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神
 - 四 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度
 - 五 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解、勤労を重んずる態度
 - 六 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解
 - 七 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解

第4期郡山市教育振興基本計画（令和7年度～）

- 基本目標1 個性を伸ばし生きる力を育む学校教育の推進
- 施策(3) 体力・運動能力の向上と食育の推進
- ③ 食育の推進と学校給食の推進
- 学校・家庭・地域・関係団体等との連携の下、健やかな体づくりの実践

【本市における学校給食の重点項目】

- ①安全・安心でバランスのとれた給食の、安定的提供
- ②食に関する適切な食習慣や知識習得のための食育指導

1 学校給食の現状

- 【給食提供方式】
- ・自校給食方式 : 小50校、中3校、義務2校
 - ・センター給食方式 : 中22校
- 【費用負担】
- ・学校給食法第11条
 - 学校給食に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費のうち政令で定めるもの（人件費、施設設備費、修繕費等）は、設置者の負担
 - それ以外の学校給食に要する経費（食材費等）は、保護者の負担
 - 令和4年度3学期～全額公費負担
- 【給食単価（R7年度）】
- ・小学校：365円（前年度15円増）
 - ・中学校：435円（前年度20円増）
- 【給食実施日数（R7年度）】
- ・小学校：180日
 - ・中学校：175日
- 【参考：全国の学校給食実施状況】
- ・完全給食実施率：小 99.9%
（公立学校） 中 97.8%
（児童生徒数ベース） 義務99.9%
- ※学校給食に関する実態調査（文部科学省R5調査）

2 学校給食関係経費及び主要事業

【令和7年度当初予算額：30億5,921万7千円】

【単位：千円】

補助交付金 1,657,126

普通建設事業費 32,826

引当金 32,000

維持補修費 16,555

減価償却費 69,000

物件費 939,449

人件費 312,261

【経費内訳・★主要事業】

- ・補助交付金：16億5,712万6千円
★学校給食費全額公費負担
市立小中学校給食費補助
- ・物件費：9億3,944万9千円
調理等業務委託料・光熱水費等
- ・人件費：3億1,226万1千円
調理員・配膳員等
- ・普通建設事業費：3,282万6千円
★中学校給食センター整備事業
整備期間：R8～R10
運営期間：R10～R25
整備・運営経費：約142億円

3 学校給食の提供状況

【献立作成】

文部科学省の食事摂取基準及び食品構成に基づき、旬の食材利用を踏まえた市場流通の安全な食材利用による、必要な栄養価を満たした共通献立を作成

【献立例】

日	主食	牛乳	おかず	赤の仲間 血や肉になる	黄の仲間 熱や力の元になる	緑の仲間 体の調子を整える	たんぱく質 脂質 食塩相当量	たんぱく質 脂質 食塩相当量
1 火	麦ごはん	○	牛乳、豚挽肉、クラッシュ大豆、みそ、ポークシチューマイ、中華スープ	牛乳、豚挽肉、クラッシュ大豆、みそ、ポークシチューマイ、鶏モモ肉	米、麦、油、砂糖、かたくり粉	なす、赤ピーマン、黄ピーマン、エリンギ、ねぎ、しょうが、にんにく、にんじん、たけのこ、もやし、きくらげ	612 kcal 24.6 g 19.2 g 1.8 g	841 kcal 33.7 g 25.2 g 2.3 g
2 水	ハヤシライス	○	わかめとツナのサラダ、小玉すいか	豚モモ肉、牛乳、ツナ、わかめ	米、麦、じゃがいも、バター、砂糖	玉ねぎ、にんじん、グリーンピース、にんにく、キャベツ、すいか	647 kcal 25.9 g 18.3 g 2.1 g	823 kcal 32.0 g 21.1 g 2.4 g
3 木	五目うどん 油揚げの煮つけ	○	磯香あえ	鶏モモ肉、かまぼこ、かつお節、牛乳、油揚げ、あおのり	ソフトめん、砂糖	ごぼう、にんじん、しいたけ、ねぎ、ほうれんそう、キャベツ	598 kcal 29.7 g 17.8 g 2.5 g	817 kcal 39.8 g 22.6 g 2.6 g
4 金	(京良市姉妹都市市献立) ごはん	○	鶏肉の竜田揚げ きゅうりのごま酢あえ にゅうめん	牛乳、鶏モモ肉、木綿豆腐、かまぼこ	米、かたくり粉、油、砂糖、ごま油、ごま、そうめん・ひやむぎ	キャベツ、きゅうり、玉ねぎ、にんじん、こねぎ	587 kcal 27.3 g 19.0 g 1.7 g	757 kcal 34.7 g 22.1 g 2.1 g
7 月	(七夕献立) 麦ごはん	○	単型ハンバーグ照焼きソース たんざくサラダ 天の川スープ	牛乳、ハンバーグ、ハム、カットチーズ、鶏モモ肉、木綿豆腐	米、麦、油、砂糖、かたくり粉、マロニー、ふ	だいこん、にんじん、きゅうり、玉ねぎ、ねぎ	623 kcal 27.4 g 19.9 g 2.0 g	786 kcal 32.6 g 22.3 g 2.4 g

【小学校（自校調理）パン食】

【中学校（センター調理）ごはん食】

引き続き物価高騰に対応しながら、安全・安心でバランスのとれた給食の、継続的・安定的提供に努める。

1 調査日

- 小学校（国・算・理）、中学校（国・数）
令和7年4月17日（木）
- 中学校（理）：ICT機器を用いたオンライン方式
令和7年4月14日（月）～17日（木）

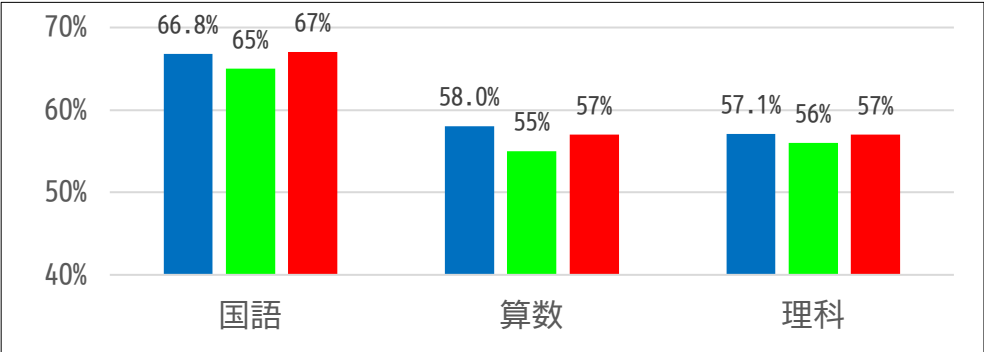
2 調査対象

- 小・義務教育学校（前期課程）：51校（6年生 2,517名）
- 中・義務教育学校（後期課程）：27校（3年生 2,430名）

3 各教科における平均正答率（各教科の問題数に対する正答数の割合）

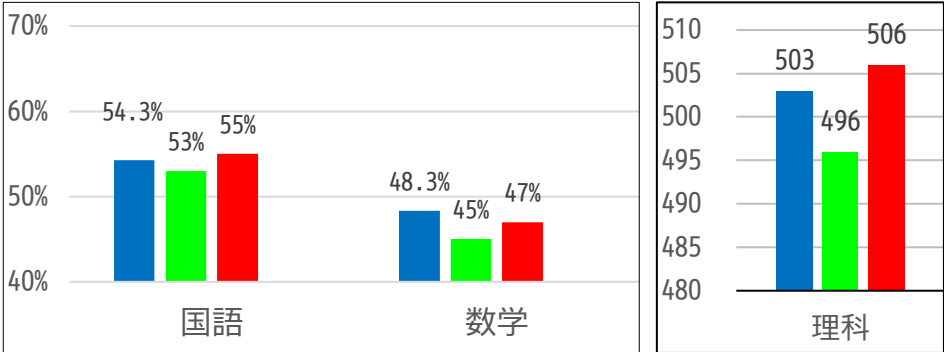
中学校理科は平均IRTスコア（IRTに基づき算出される受験者の学力を表す数値の平均値）※IRT（項目反応理論）

【小学校6年】



教科	国語	算数	理科
全国（公立）	66.8%	58.0%	57.1%
福島県	65%	55%	56%
郡山市	67%	57%	57%

【中学校3年】



教科	国語	数学	理科
全国（公立）	54.3%	48.3%	503
福島県	53%	45%	496
郡山市	55%	47%	506